



# くれよん もみじ組



7・8月

梅雨が終わり、暑い夏が始まりますね。熱中症には気をつけて、こまめな水分補給や換気、室温を調整して対策していきます。最近の子どもたちは日々、成長し動きがますます活発になってきています。部屋の中を歩いている子、寝返りをうったり、座ったり、ずり這いしたりと今まで出来なかった事が段々と自分で出来るようになりイキイキとした表情を見せてくれています。そんな子どもたちの運動についてお話ししたいと思います。



## 成長を促す働きかけ

現在、もみじ組では6ヶ月～1才3ヶ月の子どもたちがいます。その子その子によって、成長の順番やスピードは違いますが、動きやすいように環境を整えています。基本的な成長順序は、

首が座る→寝返りをする（腹這い）→一人座り→ずり這い→ハイハイ→つかまり立ち→一人立ち→歩行

### 寝返り・ずり這い

寝返りが打てるようになったら腹這いの姿勢が多くなります。腹這いの姿勢の時、頭を上げる姿勢になります。腹這いになる事で、仰向けになっていた時の景色から一新し、首を回すと周囲の視界も開け、認知機能に刺激され、精神的にもイキイキわくわくし、心の発達にもつながります。

### ハイハイ

進む方向に音の出るおもちゃを鳴らしながら呼びかけたり、ホールではスロープクッションの斜面をハイハイで登ったり、降りたりして遊んでいます。

### 一人座り

うつ伏せから視界が変わり、おもちゃを手にするともう片方の手に持ち替えたり、音の出るおもちゃで遊んだりと集中して遊べるようになります。

まだこれからお座りする子は自分で座れるようになるまでは無理に大人が座らせないように気をつけましょう。

### 歩行

戸外に出る時や、食事への移動時大人が両手を持ち、ゆっくり歩いています。歩行がしっかりしてきたら、片手で手を繋ぎながら歩くようにしています。園庭では靴を履いて歩いたり、少しの段差を片足ずつ上り下りしています。

歩行が出来るようになった子には、肋木などでのトンネルくぐりや階段上り、ハイハイ真っ最中の子にはおもちゃで興味を誘ったり、大人と一緒に這ってみたり、あえてハイハイでの活動取り入れることで将来の身体づくりにつなげていきたいと思っています。